

ハンセン病市民学会 「青年・学生部会」に 参加してください！

青年・学生のみなさん！

ハンセン病市民学会は今年5月に開催する第2回富山総会において「青年・学生部会」を設立します。多くのみなさんの参加（登録）をお願いいたします。

設立の趣旨

ハンセン病問題の世代継承の担い手を育成し、若者のハンセン病問題への取り組みを支援し、交流学习をすすめます。若者自身が市民学会の主体としてハンセン病への問題意識を交流し深め連帯する場（ネットワーク）をつくることをめざします。

【もう少し詳しく解説】

- ・各地でハンセン病問題にかかわる青年学生は、絶対数は多くないかもしれませんが確かな問題意識を持ち、模索しています。これまで、「どういう青年が」「どこで」「どんな問題意識をもち」「どんな活動をしているのか」について情報交流の場がなかった（少なかった）ため、各個人・グループの取り組みはそれぞれが自己完結している場合が多く、多彩な発展も相互交流・「励ましあい」もありませんでした。
- ・しかしハンセン病市民学会の発足、「ハンセン病問題を知りたい青年交流会」の開催（2005年8月、草津）、ソロクト楽生院訴訟での学生の取り組みなどの動きが広がり、これらに関わった若者のなかにはこれらの動きをネットワーク化する要望も高まっています。
- ・特に首都圏の学生グループは、大学の枠を超えた連携の要求が高まっており、ハンセン病市民学会への期待も広がっています。この期待にぜひ応えたいと思います。

設立後の活動イメージ

- ・日常的にはMLやブログ等を活用してつながりあいます。
- ・市民学会HPに開設される「部会」HPを活用します。
- ・年1-2回、交流集会やワークキャンプ等の会合を開催します。
- ・ハンセン病をテーマに卒論を書いている学生の合同発表会の開催などを企画します。
- ・関心あるテーマ（人権、文学、歴史、国内、海外等）ごとの交流会などを企画します。
- ・その他、創意工夫あふれる取り組みをすすめます。
- ・幹事、代表幹事等、軸になるメンバーを募り世話役活動をお願いします。

ハンセン病市民学会「青年・学生部会」に登録します

- お名前（ _____ ）
- 所属団体（ _____ ） → あればお書きください
- 職業学校（ _____ ）
- ご住所（ _____ ）
- 電話番号（ _____ ）
- メールアドレス（ _____ ） → メールリングリスト登録アドになります